

人権の広場

3月1日～8日は
女性の健康週間

3月8日は「国際女性デー」

問合先 いずみさの女性センター
(☎・Fax 4699・7125)

【女性の健康週間】

女性は妊娠や出産をする可能性もあるなど、生涯を通じて、男性とは異なる健康上の問題に直面することがあります。しかしながら、日本の女性の検診率は低い状況にあり、女性特有の病気が若い世代に増えつつあることも心配されています。ぜひ、この週間に機に検診を受けるなど、自分の身体を大切にすることを考えてみてください。

「第2次いずみさの男女共同参画行動計画改訂版（人ひとプラン）」の中でも、「男女の生涯を通じて健康・保持支援」を基本目標の一つとしています。男女が身体的性差についての理解を深め、互いの人権を尊重し、相手への思いやりを持って生きることは、誰もがいきいきとした社会づくりにとって大切なことです。

国連は1975年（国際女性年）に3月8日を国際女性の日としました。女性に対する差別撤廃と、社会開発への完全かつ平等な参加に向けた環境整備に貢献することが日本を含め各国に期待されています。

世界経済フォーラムは平成30年、各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数を発表し、日本は149カ国中110位でした（平成29年は144カ国中114位）。特に政治、経済分野において格差が大きい日本の状況を反映していると考えられます。国際的視野においても、日本の社会は男女の平等が進んでいるとは言えない状況です。日本は日本の文化、社会の状況などにも配慮しつつ、国際的な概念や考え方を重視し、国際的な協調を図ることが必要です。そのためにも、私たち一人ひとりが身近な暮らしの中での慣習や意識を見直し、男女がともに暮らしやすい環境について考えることが大切です。

小・中学生人権作品「人権はみんなの課題」

小・中学校の児童や生徒から多くの人権作品が寄せられ、昨年12月1日に入賞者の受賞式が行われました。そのなかから最優秀賞作品の一部を紹介します。（順不同・敬称略）

問合先 学校教育課

【詩】当たり前は当たり前じゃない

第三中学校1年生 南野陽向

私たちが普段当たり前と思っていることそれは 当たり前じゃない

毎日 学校に行けていること 海外には学校に行けない子供がいること あなたは 知っていますか？ 毎日 学校に行けていること それは 当たり前じゃない

一日三食 ご飯を食べていること 食べたなくても食べれない人達がいること あなたは 知っていますか？ 一日三食 ご飯を食べていること それは 当たり前じゃない

家族一緒に 暮らせていること 暮らしたくても暮らせない人達がいること あなたは 知っていますか？ 家族一緒に 暮らせていること それは 当たり前じゃない

楽しく 話せていること 話したくても話せない人達がいること あなたは 知っていますか？ 楽しく 話せていること それは 当たり前じゃない

私たちが普段当たり前と思っていることそれは 当たり前じゃない 何事にも 感謝の気持ちを持つこと それが 大切なのです

【ポスター】

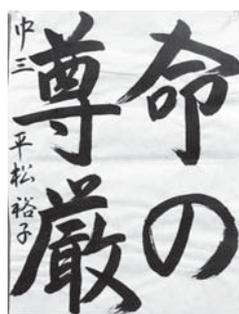


▲新池中学校1年生 平島希津和

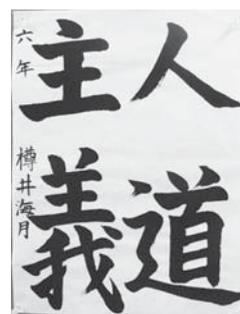


▲日根野小学校6年生 吉田梓炒

【書道】



▲日根野中学校3年生 平松裕子



▲日新小学校6年生 樽井海月

人権啓発リーダー養成講座

あいあい講座

～施設見学「リバティおおさか」に行こう～

泉佐野市は、全国に先がけてあらゆる差別をなくすことをめざす条例を制定しました。リバティおおさかは現在も課題を残すさまざまな人権問題についての展示を行っています。まずは、「知る」ことから始めましょう。

どなたでも見学できます。興味のある人はぜひご参加ください。

日時 3月16日(土) 午後2時～4時

場所 リバティおおさか (大阪人権博物館・大阪市浪速区)

集合時間・場所 午後0時30分・泉佐野市役所玄関前

定員 18人 (先着順)

申込・問合せ先 3月14日(木)までに電話、FAXまたはeメール(住所、氏名、電話・FAX番号、年代を記入)で、人権推進課へ

人権研修講演会

格差社会における教育の役割

広がる格差が、子どもたちの「夢と希望」をおしつぶす現実の中で、教育の果たすべき役割りとは何かを話していただきます。

日時 3月5日(火) 午後6時30分～8時

場所 旧下瓦屋人権文化センター 2階集会室

講師 前川喜平さん (元文部科学事務次官で現在、自主夜間中学のスタッフとして活動)

問合せ先 下瓦屋地域協議会 人権研修担当

(☎090-8828-9878)

※申込不要、参加無料



【作文】「社会を明るくするために」

明るい社会とは、一体どんなものだろう。私はこう思います。みんなが、笑顔で幸せに暮らせること。平和で、こわい事件や犯罪がなくて、安心して毎日を過ごせること。将来に夢や希望を持てること。

そのために、私ができることは何だろうと考えた時、ふと思いつかん人がいま。それは、私のおばあちゃんです。車に乗れないおばあちゃん、電動自転車に30分かけて、暑い日も寒い日も、私の家に遊びに来てくれます。私と妹の顔を見ると、元気が出るからだそう。なぜおばあちゃんかと思うかんかという、私の身近な人の中で、一番明るくてパワフルな人だからです。おばあちゃん、知らない人でも、まるで知り合いのよう。あいさつをします。私なら、知らない人と、恥ずかしいし、何だかこわいので、あいさつはできません。おばあちゃんは、妹が幼稚園に通っていた時も、おむかえでおしゃべりして、たくさんママ友ができました。一人ですバス旅行に行くこともあります。私だと家族が一緒じゃないとさみしいけ

第二小学校5年生 金田咲歩

ど、おばあちゃん、旅行で初めて出会った人でも、友だちになつて帰ってきま。お店に買い物に出かけても、店員さんとすぐに仲良しになっています。おばあちゃん、私や妹から元気をもらっていると言っけれど、実はその逆で、私たちがおばあちゃんから元気をもらっています。もしかすると、おばあちゃんの周りの人もみんなそうなのかもしれません。知らない人でも、こわがらずにあいさつをして、おしゃべりをして、仲良くなるんだと思います。私にはなかなかかまねができませんけれど、私は、そんなおばあちゃんが好きです。

世界が、おばあちゃんみたいな人ばかりだと、明るい社会になると思います。私も、おばあちゃんみたいに、明るくて、周りの人を元気づけられる人になりたいです。知っている人には、今まで通り、気持ちをこめてあいさつして、知らない人でも、目が合えば、恥ずかしがらずにニコッとできるようにしたいです。そうして、明るい社会を作る一員になりたいです。

【標語】

止めようよ 自分勝手と 無関心

日新小学校5年生 渥美杏生

やめようよ いじめ見ぬふり 知らん顔

第三中学校3年生 藤原生

